

歯

療

評

手

仕

事

の

苦

悩

み

た

これは歯科医学の現代史である

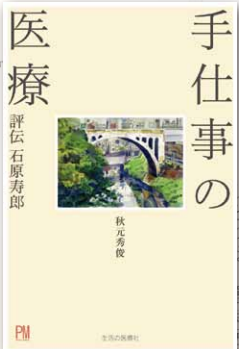
「歯は、目で見、自分で治して、そうして、効果がわかる。」
石原は自分に言い聞かせるように訥々と、歯科医師への転身をそう語った。清明な論理をもって実証にこだわり続けた石原は、同時にまっすぐに歯科臨床を見据えてもいた。氏の中で、科学としての歯科医学と手仕事としての歯科医療は常に併存していた。

フォーカルインフエクションのステイゲマが近代歯科を産んだ

歯科医療という分野に憧れたひとりの学者の苦悩を追った

石原は咬合学について明確な一つの答えを持っていた

昭和44年まで、ここに日本の現代歯科医療のルーツがある



秋元秀俊 著

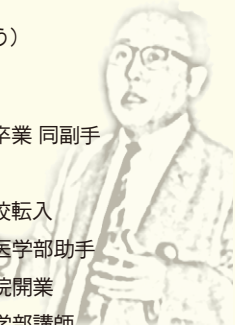
石原寿郎

「山田先生、ちゃんと読みましたか、ウィ・ベリーブ (We believe) って書いてるでしょ。スチュアートは、5年前はバランスドオクタンだんぞよ。先輩が、や、皮肉を交えて解説した。スチュアートはフルアンシャスタブルの咬合平衡のフルバランスを意味したよ。」

単行本 | 四六判上製 | 312ページ
定価：3,200円+税
ISBN978-4-9909176-1-6 C3047

● 石原寿郎 (いしはら・としろう)

1917年9月生 愛知県蒲郡市
 1942年9月 東京帝国大学医学部卒業 同副手
 1945年8月 復員 東大復籍
 1946年4月 東京医学歯学専門学校転入
 1948年 同卒業とともに東大医学部助手
 1949年 故郷蒲郡にて歯科医院開業
 1950年 東京医科歯科大学歯学部講師
 1959年 同教授 (歯科補綴学講座)
 1961年 同医学部教授併任
 1969年1月 東京医科歯科大学附属病院院長併任
 同9月 逝去 (享年 52 歳)



これはノンフィクションであり、証言集であり、歯科医学の現代史である。すなわち、いまの日本の歯科医師とは、何者なのか。石原寿郎というひとりの孤高の学者の仕事と彼をめぐる状況を、歴史的資料によって跡づけ、丁寧に紡いだものがたりである。

手仕事の医療

評伝 石原寿郎

著者略歴

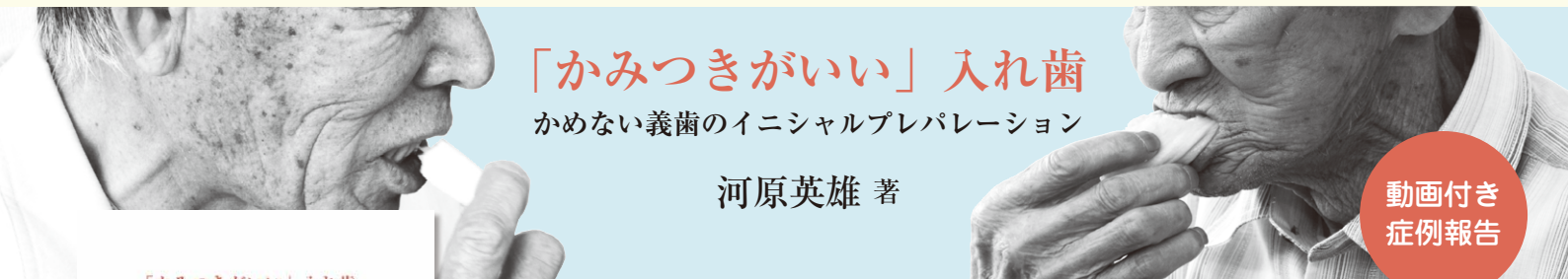
秋元秀俊 (あきもと・ひでとし)

1952年生。大学卒業後、家具職人見習いをはじめいくつかの職を経て人文圖書の編集を経験し、1982年1月クインテッセンス出版の歯科臨床医向け月刊誌創刊に携わり、同誌編集責任者として、心内臓炎と口腔内細菌、患者のナラティブ、腸内細菌と口腔内細菌の生態学、初期齲蝕の再石灰化、臨床と基礎(病理)との接点など、時代を先取りした企画で話題となる。1988年モリムラなどと連携し、スウェーデンからP. アクセルソンを招いて、従来予防は公衆衛生とされていたところに、歯科医院での予防歯科を日本に導入。1991年10月に独立し、1992年10月有限会社秋編集事務所設立。多数の出版企画・製作とともに毎日ライフ、家庭画報などに歯科医療関連記事を連載。1994年熊谷崇と共著で『<歯科>本音の治療がわかる本』(法研)より出版、改訂新版を合わせて13年間21刷のロングセラーとなる。1998年日本ヘルスケア歯科研究会の設立に参画。2000年に歯科を「生活の医療」と位置づける論考を発表(後に日本歯科医師会大久保執行部のキーコンセプトとなる)。著書:上記のほか『良い歯医者とは治療がわかる本』(1998)、『ドイツに見る歯科医院経営の未来形』(2001)、共著に『医療事故の責任』(2007)、『院内事故調査の手引き』(2009)、『3・11の記録 震災が問いかけるコミュニティの医療』(2012)、『院内事故調査 実践マニュアル』(2015) など

単行本 | 四六判上製 | 312 ページ
 モノクロ | 3,200 円 + 税
 ISBN978-4-9909176-1-6 C3047

出版社ウェブサイト
 で大胆に立ち読み可!

website:www.peoples-med.com



「かみつきがいい」入れ歯

かめない義歯のイニシャルプレパレーション

河原英雄 著

動画付き
 症例報告



単行本 | A5 | 128 ページ
 フルカラー | 定価: 4,500 円 + 税
 ISBN978-4-9909176-0-9 C3047

新義歯の作製も吸着も後回し、ひとまず、かめるようになってもらおう

Contents

- 1章 咬合の考え方
 - 2章 リマウント調整法の手順
 - 3章 セントリックバイトの採得
 - 4章 リマウント
 - 5章 咬合調整
 - 6章 フードテスト
 - 7章 症例報告
 ※症例報告には動画が含まれます
- ◇ バランスドオクルージョンが吸着を生む
 - ◇ 咬合接触とは、接触を感じる
 - ◇ 咬合器上でしかできない総義歯調整
 - ◇ フードテストの主体は患者、テストされるのは歯科医師であり、その治療である
 - ◇ リハビリテーションとしてのフードテスト

咬合が安定しない義歯に対してリラインを行うことは、プラークコントロールをせずに歯肉切除をするようなものです。まずはバランスドオクルージョンを与えて、義歯の安定を回復しかめるといった実感を患者さんに経験してもらいましょう。 <はじめにより>

お求めは・・・

PM 生活の医療 株式会社

〒112-0014 東京都文京区関口1-45-15-104

tel:03-6820-8371 fax:03-3269-8372

web:www.peoples-med.com email:info@peoples-med.com

